

えんぼとたんぼの始発駅

里山ビオトープ二俣瀬

# 会 報 第 130 号

2012年5月23日

里山ビオトープ二俣瀬をつくる会

編集責任者：西原 一誠

## 1. 活動報告（事務局 記）

—5月6日（日）参加者は21名と多くの会員が参集いただき水路の事前の溝普請と市道土手・水路土手の草刈を完全に行いました。

また草刈機も多く又会長持参の大型自走草刈機等々でビオトープ全体の草刈も完了しました。

—5月17日（木） 18時～20時 山大工学部関根教室で当会の「宇部市生物多様性地域連帯保全活動計画策定協議会」に参加するにあたっての対応事項まとめ会議を行いました。

参加者は協議会委員2名会員8名合計10名にて活発な意見がでまして、次回標記「宇部市……協議会」に提案する事になりました。

—5月19日（土）① 親子自然観察隊「初夏の野鳥観察」宇部野鳥保護の会より中山純一さん・吉村高夫さんを講師にお迎えしてビオトープ～厚東川河川敷・木田橋・二俣瀬橋一帯の観察を行いました。23種の野鳥を観察出来ました。全般的に確認が減少している中で短時間でこれだけ野鳥が確認できたことは大変うれしく思います。

参加者は子ども隊員7名 ジュニア5名 親隊員8名 つくる会会員19名他山大農学部女子学生3名合計42名の観察隊となりました。

同日② 宇部環境コミニテイ総会参加 今井会長は理事会も含め  
原田／田村両副会長・関根会員 計4名のコミニテイ兼会員が出席されました。

## 2. 今後の予定（事務局 記）

◎ 見学者 フジとキララ子どもエコクラブより8月の親子自然観察会と同じ日に活動を申し込まれています。

◎行事

—6月03日（日）維持活動（エコアップ、修復作業）

—6月16日（土）親子自然観察隊 田植え 田植後、植え末て祭（膝癒し）を行います。お茶としておむすびが出ます。

## 3. 来訪者の声

今月はありません

#### 4. 会員の声 - 1

##### 「絆—今昔物語」

( 内藤 武顕 記)

歴史好きな日本人と言うベースでNHK大河ドラマは作られている。しかし今「平清盛」は苦戦中。関門海峡を商船が航行している。九州と本州を隔てるこの海峡の底には多くの秘話が眠っている。今から827年前源平最後の合戦となった「壇ノ浦の戦い」もそのひとつ。

この戦いに敗れて平家は滅亡した。ドラマ性は充分な筈なのに視聴率は過去最低レベルを進行中。福山雅治なら見たいが松山ケンイチはどうも女性心理もかなりあるとか。奥さん女優「小雪」さんには申し訳ありません。いづれにしてもいろんなマイナス要素が複合した結果だと思う。

昨年の3月11日の大震災～日本人は連帯とか絆を求めるようになった。そんな心情を照らし合わせると今回のドラマは権謀術数とドロドロした人間性の露出が今、時代が求めているものとはチャンネルのズレがあるかもしれない。

野に山に木々の緑がみずみずしい季節、夏来る思いにさそわれます。「田植え」もまたその一つ。あらためて辞書を引いてみる「田植え」とは稲の苗を苗代から本田に植え付ける作業と書いてある。さて？数多くの車地の大先輩方の顔がちらつきますが・・・・・・・・。

もともと田植えは村の協同作業であり、同時に神事でもあった。俳句の囃し田という季語を生み出した。今でも広島や島根の山間部に残っている大田植えに古い様式を偲ぶことが出来るとか。田植えのリーダーは数百章の田植え唄をそらんじ男女の田人の「ゆい」の要。その「ゆい」が絆をはぐ組むことになる。

早乙女、田植え唄、昼食時の酒、夕食の酒は飲み放題（呑み放題の語源はここから発生）巻き鯛菓子、餅やおはぎが供され、田植えは祭であった。

今は田植え機の静かなエンジンの音とともに田植えは終わる。時はながれる。

“もったいなや 昼寝して聞く 田植え唄 ” -小林一茶

※「ゆい 結」・田植え・屋根葺き替え、味噌搗き等一時に多くの労働者を要する際に互いに人手を貸しあうこと。

6月16日（土）はビオトープの大田植え、「結いの日」。子どもたちはビオトープからたくさん刺激を受け、強くたくましく育って欲しい。

#### 会員の声 - 2

##### 「新入会員の挨拶」

( 岡村 恵子 記)

中本さんから声をかけられ、自信が無かったのですが、何かお手伝いできればと思い参加することにいたしました。土曜日の「親子自然観察隊」にはワクワクしています。何をしても良いかわかりませんが、よろしくご指導ください。日曜日は出られないことが多いですが、お許しください。

## 5. 親子自然観察隊 5月19日(土)「初夏の野鳥観察」

(隊員7名、ジュニア隊員5名、保護者8名、一般会員19名、宇部野鳥保護の会2名、山口大学農学部学生3名)

今年も宇部野鳥保護の会より2名の講師をお招きし、好天の中、野鳥の観察を行いました。アオゲラやコシアカツバメなど、これまで見られなかった鳥もみられ、23種類の野鳥が観察されました。数日前に常盤公園にて宇部野鳥保護の会メンバーによる野鳥の観察を行いました。22種類しか確認されなかったようで、講師より二俣瀬ビオトープの自然がいかに素晴らしい場所であるか証明していただきました。

また、今年より山口大学の学生1名が会員に加わりましたが、今日は3名の学生を引率してこられました。子供会員はすくなかったのですが、保護者と一般会員が多く、全体的に賑やかな観察会となり、講師による鳥たちの生態を聞きながら勉強でき、大変有意義な観察会になりました。

\*カラスについて勉強したこと

ハシブトガラス：くちばしが大きく”カアカア”と鳴く。

ハシボソガラス：くちばしが細く”ガアガア”と鳴く。

尚、原田事務局長と3名の会員は、観察には参加されず、水田横に運び込まれた堆肥の散布を行っていただきました、ご苦労様でした。この作業で、6月の田植えを無事行うことができます。収穫を増やすための作業です。



鳥についての説明をする  
宇部野鳥保護の会の講師



屋外での野鳥の観察風景

## 親子自然観察隊(4月21日 食べられる野草)に参加した親子の感想

★野田怜さんのお母さん

先日はお世話になりました。暖かくなり、ビオトープ周辺でヘビを二匹見ました。筍掘りは息子は初めてで見付けては、掘ってもらい夢中になってさがしていました。自然いっぱい水辺では、タイコウチをすぐに見つけ満足していました。身近にはなかなかないです。カスミサンショウウオの卵も見付けました。絶滅危惧種でしたが、自宅に戻り図鑑を見ていました。山里がますます魅力的になったようです。

日頃はボール投げも思うように遊ばず、遊び場もなく友達と遊ぶにはゲームばかりで、思いっきり楽しむ事がなかったのですが、楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

天ぷらは、椎茸、ヨモギがとっても美味しかったです。ごちそうさまでした。

★金子 揮壺くん

「たけのこ掘り」は初めてだったので、鍬の使い方が難しくてたけのこを途中で切ってしまいました。大きさが掘ってみないとわからないのでおもしろいと思いました。僕が見つけたのは小さかったので、次はもっと大きいのを掘りたいです。

「野草」は時間が少なくなって、あまり見つけられませんでした。てんぷらは全部おいしかったです。特にタラの芽とフキとワラビとピーピーまめが好きでした。

★村田ひとみさん（村田紀香さんのお母さん）

先日の自然観察隊ではありがとうございました。いろいろご準備等大変かと思います！自分で採ったのを天ぷらにして食べるなんて贅沢な会でした。

事前にハハコグサから椎茸までの野草を説明の時に見せてもらっていたので自分でも野草を見つけれることができて楽しかったです。

Facebook でいろんな写真も見られて帰ってから家族と話題になります。親子観察隊の後子どもたちにも感想を聞いてはいかがでしょう？時間的に難しいかもしれませんが、次回も楽しみにしています！

★山本将大くんのお父さん

先日はお疲れ様でした。取材に来られていた宇部日報に子どもが写っていてビックリしました。観察隊については、古株になりますがいつも新鮮な思いで参加しております。今回は野草などの名前の説明からの散策だったので非常に解り易かったです。

また、天ぷらも当然おいしかったのですが、おむすびまで用意していただき大変感謝しております。

★井元瑛裕くんと咲綾ちゃんのお母さん

あの日の感想は、みんなとても楽しかったです！またよろしくお願いします！

★婦木義則くん

タラノメが木の枝の先端になっているとは知らなかった。採るのにこずったけど、楽しかった。いい経験をした。

★婦木奈々子さん

タンポポが食べれるなんて思っていなかった。タンポポが美味しかった。

★阿部真愉さん

ゼンマイを見つけて嬉しかった。地面の端の斜めになっているところで見つけた。天ぷらは筍とお芋のチップスが美味しかった。楽しい一日だった。

★阿部真愉さんと訓子さんのお母さん

タラの木が芽をだしているところを初めて見つけました。（感動）

刺はバラの刺のように鋭利で なかなか手に負えにくいところ。成る程、美しい花や美味しい芽は、身を守る為の備えの万全なことに驚きました。

しかし、トンボ先生の素晴らしいアイデアで 芽をゲット。ほくほくの春の恵みを美味しく戴かせて頂きました。

★伊原邦治さん（伊原和輝くんの祖父）

30数年前、子供たちを連れて山登りや海水浴あるいは遊園地等いろいろな所に連れて行きましたことを覚えています。今は孫を連れて一緒に自然を楽しむ、ビオトープ親子観察隊に参加しています。山菜を食すること、野鳥観察他盛りだくさんの計画があり、孫も大変楽しみにしているようです。とても素晴らしいことと思います、かつ関係者に感謝しています。

## 6. ビオトープ関連 (ビオトープのトンボたち) (管 哲郎 記)

### (48) ヤブヤンマ (ヤンマ科・ヤブヤンマ属) *Polycanthagyna melanictera* SELYS

本州、四国、九州に分布しますが、東北地方では局地的とされています。殆ど目にする  
ことのないトンボですが、私たちの周りに身近に見られるヤンマです。成虫は4月中旬に  
は出現しますが姿を見せるのは初夏のころで、黄昏飛翔性が強く7月に入ると池の周りや  
谷あいの広い草原の上空を日が落ちると急にあらわれ群れをなして飛び始めます。地面よ  
り2~3メートルの高さを滑空したり、10メートルほどの高さを飛翔し、暗くなるとい  
つの間にか姿を消してしまいます。

池などの止水域に生息しますが、植物性沈積物の多い木陰の池を好むようで、産卵は水  
辺から少し離れた朽木やコケ、湿った泥の中に産卵します。メスの産卵行動は広範囲にお  
よび、山中の水たまりや人家の近くにある水溜などにも平気で産卵します。採集する場合  
はまず、黄昏飛翔を行う場所を探すことになります。オス、メスともに一緒になって飛翔  
しますが、メスは比較的長くゆっくりと飛ぶので捕獲が容易です。

本種も若いオスは目や体の一部が黄色く、成熟しないと美しい青藍色になりません。



成熟 ♂



未熟 ♂



産卵飛翔する♀



泥中に産卵するヤブヤンマの♀



休止する成熟♂

## 7. 会よりの連絡事項（事務局より）

### 1) 関係団体の会費納入済

①UNCCA 3,000円

②NPO 法人うべ環境コミュニティ 4,000円

### 2) 会員消息

・退会

・新入会員

岡村恵子 宇部市際波 413-4 0836-44-1698 〒759-0207

※4月号での記載を忘れていました

## 8. 編集後記

最近親子自然観察隊の時に、長男（3歳4ヶ月）のお友達親子も合流するようになりました。日頃水に入るのを嫌がり、トミカやプラレールなどインドア遊び好き長男も、お友達と一緒に喜んで小川での遊びに興味を示して助かっています。

先日参加した自然観察隊は野鳥観察でしたが、お友達親子が残念ながら遅れて到着とのことで、うちの子は性格上多分皆さんについて歩けないだろうと思い、網とバケツを持ってきてビオトープ内で過ごしました。オタマジャクシやメダカ、ヌマエビ？など、私でも簡単につかまえることができましたが、インドアな我が息子はほとんど興味を示さず（ムムム…）。そういえばこの子はトンボや小さなクモでも怖いと言います…（アリやダンゴ虫、テントウムシは好き？かな？）。

田んぼでは数名の会員の方々が肥料を一輪車で運んでおられました。意外にも息子は興味を示し、自分でも運ぶと、少しずつの肥料ですが集中して何度も一輪車で運ぶことができました。「そういえばあんた、工事現場が好きよね…。」 いろいろな作業も行われているビオトープ、子どもにいつも良い経験をさせて頂き、感謝いたします。

（大野 靖子 記）